

2022年1月28日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

JG1KTC 高尾義則 会長

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

社員 JJ1WTL 本林良太

社員 JH4PHW 坂井志郎

社員 7K1BIB 山内貴博

課題解決に向けての議論のご提案

JARLの会員が増えていると聞きます。それはそれでよいことですが、今のJARLに改善して欲しいという会員の声を、会長も直接お聞きになっていることでしょうか。私たち社員3名は、JARLが今すぐに取り組むべき緊急の課題を、以下の3点にまとめました。

第1 カード転送の安定化

QSLカードの転送に、以前よりも時間が掛かっているように見えています。この要因は、在宅時間の増加や、デジタルモードの普及などに伴う交信・転送量の増加によるものと推察されます。新入会員には、入会しても半年以上カードが届かないようです。一方で、終活でカードの処分困っていらっしゃる方もいますし、IARUは不要・不達のQSLカードの削減を呼びかけています。また島根の受託会社がビューローを辞めるという噂も絶えず、カード転送事業の継続が難しいのではないかと心から心配しています。

電子QSLシステムの利用促進、転送枚数を減らすための呼びかけ、公平な費用負担など、本格的に検討し、迅速に取り組みましょう。

第2 法制度・バンドプラン改善対応

昨年11月の内閣府「規制改革推進会議・経済活性化ワーキンググループ」にJARLは参加できませんでした。日本のアマチュア無線家を代表する団体として、とても残念なことです。

今年1月26日に、総務省に「ワイヤレス人材育成のためのアマチュア無線アドバイザーボード」が設置され、会長が構成員に就任されました。規制緩和を実現する最大のチャンス

です。全国のアマチュア無線家の意見をしっかりと聞き、総務省に伝えていきましょう。要望書は多くの人の意見を取り入れて JARL 会員の総意として作られるべきです。

また、IARU から、QRM の解消のため、国内 FT8 の QS0 に使われている 7041kHz を移転するよう求められている件については、JARL として、一般アマチュア無線家に対しお願いするだけでなく、JARL が主導して新周波数を決めましょう。周波数委員会、コンテスト委員会などときちんと連携し、一般アマチュア無線家の意見もしっかりと聞きましょう。そうしないと、日本が世界に迷惑をかけたままになってしまいます。

第3 財政健全化

JARL は毎年数千万円の赤字を続けています。JARL の財政はこのままではいつか破綻します。これを改善するためには、QSL ビューロー（年間 7500 万円）と、紙 JARL ニュース（年間 3500 万円）という主要費目をどのようにしていくのが重要です。読みにくい JARL Web を全面的に改修し、「ニュースは JARL Web に」「充実した読み物は紙ニュースに」載せるように役割を分担し、経費を節減しましょう。地方予算を削ることなく、赤字の縮小・収支均衡を目指しましょう。

* * * * *

私たち 3 名は、以上の緊急課題を解決するために、全国のアマチュア無線家と一緒に、会長に全面的にご協力申し上げる準備がございます。

昨年の社員総会で、社員から「もっと対話を」との声がありました。まずは、ご面談をお願いし、具体的な進め方について議論させていただきたく存じます。ご検討のほど、よろしくお願い致します。

以上